

# ふくやま 市議会だより

ばらのまち福山



FUKUYAMA



今回の定例会は

3月 6月

No.69

12月 9月

## 9月定例会

発行 / 福山市議会 編集 / ふくやま市議会だより編集委員会

発行日 / 2018年(平成30年)11月1日

〒720-8501 福山市東桜町3番5号

TEL.084-928-1136 FAX.084-920-1104

●今月の表紙●

夕闇迫る吉備津神社本殿  
(国指定重要文化財・新市町)

議会報告会	2～3
9月定例会の概要	4
議案の審議結果	4～5
一般質問	6～11
委員会の活動	11
傍聴のご案内	12



# 開催 防災・減災対策に意見集中!

議会報告会に、今回も多くの皆さまにご参加をいただき、さまざまなご意見をお聞きすることができました。昨年度の反省点を踏まえ、市民にとって分かりやすくなるよう、昨年に引き続き常任委員会ごとに検討し開催いたしました。

このたびの議会報告会は、7月豪雨による被災後の開催ということもあり、意見交換の場では、地域の現状について多くのご意見を伺うことができました。各会場で頂いた質問や要望について、主なものを紹介し報告します。

**問** 新総合体育館の建設が進みつつあるが、周辺地域のまちづくりも考える必要がある。

また、体育館の周囲の通路などは、日よけや雨よけに、屋根なども整備してほしい。

**答** 体育館を核とする周辺のまちづくりについても、提案をしていきたいと考えています。また、周辺の通路への屋根の整備については、要望があったことを市へ伝えます。

**問** 自転車通行ゾーンの整備を進めるとともに、基本的なモラルの啓発が必要だ。特に、外国人居住者が増加し、多文化共生社会の取り組みも課題だと考える。

**答** 自転車通行ゾーン整備における段差の解消やバリアフリーについては、これまで議会でも議論がされてきた課題であり、より安全に通行ができるよう要望していきます。

また、自転車利用者には、順守すべき基本的なルールを、さまざまな機会を捉えて啓発し普及させるよう、市とも連携して取り組んでいます。外国人が働く企業や通っている学校を通じて、マナーに関する啓発が普及するよう、市とも連携して取り組んでいきます。

## 8月に開催した議会報告会の会場と参加者数

20歳代以下	0人
30歳代	4人
40歳代	19人
50歳代	48人
60歳代	243人
70歳代	175人
80歳代	18人
無回答	3人

開催日	会場	担当の常任委員会	参加者数
19日(日)	西部市民センター	文教経済	57人
20日(月)	東部市民センター	民生福祉	134人
21日(火)	北部市民センター	総務	69人
23日(木)	人権交流センター(台風で中止)	建設水道	-
24日(金)	市役所 大会議室	建設水道	55人
26日(日)	市役所 大会議室	総務	72人
27日(月)	神辺文化会館	文教経済	106人
28日(火)	ぬまくま市民交流センター	民生福祉	62人
		合計	555人

# 議会報告会を 7月豪雨の被害から、

## 参加者の 主な意見

- ▶ 排水ポンプの機能や能力の増強を
- ▶ 避難場所の在り方について検討を
- ▶ 防災や避難に対する住民の意識向上も必要だ
- ▶ 新総合体育館周辺のまちづくりの検討を
- ▶ 自転車を利用するモラルの周知を

**問** 多くの場所で床上・床下浸水などの被害があった。排水ポンプなどの機能や能力について確認し、必要な場所は増強を考えてほしい。  
また、河川やため池に相当量の土砂が流れ込んでいるので、対応をお願いしたい。

**答** 排水ポンプについては、県の有識者検討会や福山市域における浸水対策協議会で要因を分析され、協議内容によってポンプの増強等が検討されます。  
土砂の撤去については、要望があったことを市へ伝えます。

**問** 避難場所の開設について、行政の人がいなかったり、場所によっては浸水した場所もある。  
避難場所の位置など、在り方について検討を。

**答** ご意見があったことを市に伝えます。

**問** 我々、住民側も災害に対する備えや、避難行動などの意識があまりにも低かった。今後、備えや避難について、個々人の感性を上げる啓発が必要と思う。

**答** 市と自治会、自主防災組織が連携し、各自治会では学区防災計画や地域防災マップを作成しています。議会としても、市民に対しどのように周知し、避難行動をとっていただくか検討し、取り組みを進めていきます。

## 報告会開催の評価と参加者の年齢 (アンケートから抜粋)

評価する	171人	33.5%
まあまあ評価する	213人	41.8%
あまり評価しない	41人	8.0%
評価しない	3人	0.6%
無回答	82人	16.1%

### 議会報告運営委員会 所見

災害復旧や台風の接近もあり、昨年よりも参加者数は減少しましたが、どの会場も活発な意見交換がなされ、ありがたく思っています。

皆さまから頂いた多くのご意見や、アンケートの結果については、今後の議会活動に反映させていただきます。

なお、詳しい内容は、11月1日からホームページに掲載します。また、各公民館にも備え置きますので、ご覧いただけます。

今後も、より開かれた議会をめざして取り組みを進めます。

委員長 榊原則男

# 平成30年9月定例会



平成30年9月定例会（9月4日～25日／会期22日間）の概要は次のとおりです。

**4日** 専決処分、平成29年度健全化判断比率、平成29年度資金不足比率の報告

平成30年度一般会計補正予算の市長専決処分を承認後、市長が市政の状況と27議案の提案理由を説明

**10日～13日** 議案や市政全般について20人の議員が一般質問

**13日質問終了後** 市長が14件の追加議案の提案理由を説明

一般会計などの補正予算案7件は、予算特別委員会を設置して付託、病院事業会計等の

決算認定などの4議案は、企業会計決算特別委員会を設置して付託し定例会終了後の9月26日から28日まで審査

平成29年度一般会計と11の特別会計の決算認定の12議案は、一般・特別会計決算特別委員会を設置して付託し10月9日から15日まで審査

それ以外の18議案は、所管の常任委員会に付託

**14日** 4常任委員会でそれぞれ議案を審査

**18日・19日** 予算特別委員会で議案を審査

**25日** 議案を審査した4常任委員会と予算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、それぞれの報告について採決し、25件の議案を原案どおり可決

任期満了に伴う市選挙管理委員および補充員を選挙

議員提出の福山市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正案を可決

議員提出の意見書案1件を可決

## この定例会で決まったこと（一部をお知らせします）

### 【市長提出議案】

#### ■補正予算

- 7月の豪雨で被災した道路、橋りょう、河川、農地、農道、水路、ため池などの復旧事業費
- 小中学校の空調設備整備費
- 公共施設緊急安全対策として、コンクリートブロック塀の撤去等費用
- 藤江町瀬丸自治会ほか7カ所の地域集会所の改築・改修費助成など

#### ■条例

- 沼隈サンパル内の福山地域職業訓練センターを今年度末をもって廃止し、今後、沼隈サンパルを文化施設として指定管理者が運営できるよう業務を定め、開館時間、休館日、使用料等を変更します。（沼隈サンパル条例の一部改正）

## 平成30年9月定例会 議案の審議結果一覧

議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています

付託委員会	議案名	水曜会 (14人)	公明党 (7人)	市連 (4人)	民共 (4人)	日本共産党 (4人)	誠友会 (4人)	新政クラブ (3人)	無所属 (3人)	採決結果
総務	一般職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
	重要伝統的建造物群保存地区における税条例の特例を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

次ページに続く



付託委員会	議案名	水曜会 (14人)	公明党 (7人)	市連 (4人)	民共 (4人)	日本 共産党 (4人)	誠友会 (4人)	新 政 クラブ (3人)	無所属 (3人)	採 決 結 果
民生福祉	養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○		×	○	○	○	可決
	介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○		○	○	○	○	可決
	介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号事業の人員、設備及び運営並びに指定第1号事業に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○		×	○	○	○	可決
	ひとり親家庭等医療費支給条例及び重度心身障害者医療費助成条例の一部改正	○	○	○		○	○	○	○	可決
文教経済	沼隈サンパル条例の一部改正	○	○	○		○	○	○	○	可決
	食肉センター条例の一部改正	○	○	○		×	○	○	○	可決
	城北中学校南棟校舎改築他工事請負契約締結	○	○	○		○	○	○	○	可決
	樹徳小学校北棟校舎他耐震改修工事請負契約締結の変更	○	○	○		○	○	○	○	可決
建設水道	手数料条例の一部改正	○	○	○		○	○	○	○	可決
	風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正	○	○	○		○	○	○	○	可決
	地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正	○	○	○		×	○	○	○	可決
	古屋ヶ谷池災害復旧工事請負契約締結の変更	○	○	○		○	○	○	○	可決
	土地改良事業(弥々迫地区)による字の区域の変更	○	○	○		○	○	○	○	可決
	市道路線の認定	○	○	○		○	○	○	○	可決
予算特別	審査請求に係る地方自治法第229条第2項の規定による諮問	○	○	○		○	○	○	○	答申
	平成30年度一般会計補正予算	○	○	○		○	○	○	○	可決
	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○		○	○	○	○	可決
	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○		○	○	○	○	可決
	平成30年度食肉センター特別会計補正予算	○	○	○		○	○	○	○	可決
	平成30年度水道事業会計補正予算	○	○	○		○	○	○	○	可決
	平成30年度工業用水道事業会計補正予算	○	○	○		○	○	○	○	可決
委員会付託省略	市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	○	○	○		×	○	○	※	可決
	核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書案	○	○	○		○	○	○	※	可決

賛否は、本会議後に会派等に確認したものです。○は賛成、×は反対、※は賛否双方あり。



決算特別委員会

この結果は、12月例会の初日(12月3日)開催(予定)で、委員長報告を行います。

**平成29年度 企業会計決算を審査**  
 9月定例会に提案された平成29年度の企業会計(病院、水道、工業用水道、下水道の各事業会計)決算認定議案を、企業会計決算特別委員会(委員18人)を設置し、9月26日から28日まで審査しました。  
 26日に帳簿等の書類審査27日に質疑を行い、各事業会計の予算が効果的に執行されているかなどを審査しました。28日には、それぞれの事業会計について討論を行い採決し、決算特別委員会として、それぞれの決算を認定することに決定しました。

# 一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、20人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。  
(一)内には、各党派等からの質問申し出時間を記載していません。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	5人	330分
公明党	4人	210分
市民連合	2人	145分
日本共産党	2人	145分
誠友会	3人	145分
新政クラブ	1人	70分
無所属	3人	各30分

\*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。



高田 健司  
水曜会 (80分)

## 市長の政治姿勢は

**問** 市政運営2年間の取り組みと今後の思いは。

**答** 市長就任時に5つの挑戦を掲げ、1年目を実行の年、2年目は加速の年として、職員一丸となりスピード感を持って取り組んできました。主には、福山駅前の再生や子育て支援の充実に向けた取り組み

み「ばらのまち福山国際音楽祭」の開催、福山城築城400年に向けた機運の醸成などで、車座トークなどの現場主義の取り組みではニーズを把握し、施策へ反映してきました。

残り2年の任期は、特に次代を担う子どもの健やかな成長への支援に力を注ぎ、また、頻発する自然災害への備えを万全にするため安心・安全なまちづくりに向けた取り組みも強化していく。引き続き、10年先、20年先の福山の姿を見据え、市政運営に全力で取り組む。



今岡 芳徳  
水曜会 (40分)

## 都市型排水施設の新設は

**問** 排水施設には、上下水道局所管の都市型と、土地改良区や農林部所管の農業用がある。本市の市街化が進む現状や今後の浸水対策を考えると、都市型の雨水排水施設の新設が必要では。

**答** 今回の豪雨災害を受け、農



排水機場

区で構成する「福山市域における浸水対策協議会」で検討する。

業用排水機場により雨水を排水している地域については、浸水状況や既存排水機の能力などを緊急に検証し、農業用排水機の能力不足を補完する都市型の雨水ポンプ場の新設や水路整備などの有効な対策を、国、県、市および土地改良



大田 祐介  
水曜会 (70分)

## 芦田川の治水対策は

**問** 河口堰の存在により流下障害が生じ、堆砂が進み河床が上昇している。今回の豪雨災害で一層河床が上昇したが、今後の対応と河口堰の利水と治水のバランスの取り方は。

**答** 芦田川の河川内には土砂の堆積をはじめ、繁茂した樹木など

が多く存在し、芦田川の本来の流下能力を阻害しており、7月豪雨を受けて状況はさらに悪化している。早期に治水安全度を回復、向上させるため、堆積土や樹木の撤去などを緊急的に実施するよう国に強く要望した。

河口堰は、洪水を安全に流下させる治水機能と、工業用水を供給するための利水機能を併せ持っている。今後、河口堰がより一層の治水機能を発揮できるよう、せき操作の柔軟な運用について、国に働きかけていく。

\* 9月定例会の一般質問の録画放送を見る場合  
福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。



連石 武則  
水曜会  
(70分)

7月豪雨災害時の対応と今後の対策は

**問** ①市域全体で避難場所の開設数36カ所は適切だったか。また、小学校などの公的施設の避難場所管理の在り方は。②消防団は地域と密接につながり、被災者の救助活動にも秀でている。装備品の充実強化を求



石口 智志  
水曜会  
(70分)

新施設整備後のごみ持ち込みは

**問** ①次期ごみ処理施設整備後のごみの受け入れの対応は。②拠点支所単位に中間施設を設置する考えは。

**答** ①ごみの持ち込み時間の延長や休祝日の受け入れなど、持ち込み方法の拡充に努める。②経費や安全面から現在設置は考

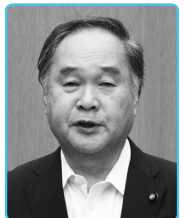
める。

**答** ①いつとときに市内全域に避難指示を発令したため、追加的な指定避難所の開設が追いつかなかったことは大きな課題と考える。公共施設は職員による開錠が基本だが、災害時に活用が見込まれる場合には、地域の方に開錠していただくなどの対応を検討する。②近年の大規模化する自然災害に対応するため、団員の安全装備の充実を基本に、より機動的な活動を行うために必要な無線機など、装備品の強化に努める。

いじめ防止の行動化を

**問** いじめを許さないという道徳的価値観だけではいじめ防止の行動につながることは難しいが、取り組みは。

**答** 道徳の授業では、いじめを扱った教材の登場人物を交代で演じることを通して自分のこととして考え、議論が起ころる学びづくりに取り組んでいる。



門田 雅彦  
公明党  
(65分)

世界バラ会議福山大会の開催に向けて

**問** ばら公園には、休憩できるカフェテリアやばらに関する資料館等がない。2024年に開催される世界バラ会議福山大会を見据え、PFIなどで民間資金を活用して「ばらのミュージアム」を設置してはどうか。



生田 政代  
公明党  
(45分)

浸水対策は

**問** 7月豪雨災害では、浸水被害が大きかった。浸水被害の原因と今後の対応は。

**答** 記録的な雨量で、芦田川の水位が上昇し県河川等からの水はけなくなり、市街地の水路や水路が接続する河川、排水ポンプ等それぞれが流下、排水する能力を

**答** 世界バラ会議の開催は「ばらのまち福山」を世界に向けて発信する絶好の機会と捉えている。また、100万本のばらのまち達成後の新たなばらのまちづくりの取り組みを考えている。

そのため、ばらの持つ香りや健康、医療、そして、食などの多様な機能について研究するとともに「ばらのまち福山」、また、「国際都市福山」として発信するための必要な要件について、ハード面の整備も含め、新たな視点からその可能性を探っていく。

避難行動要支援者  
避難支援制度は

**問** 制度の推進状況と課題は。

**答** 9月1日現在、80学区のうち個人の避難プランを作成していない学区は58、避難プランができていない学区は22である。本制度の課題把握のためこのたびの豪雨における実態を調査し、実効性のある避難プランとなるよう取り組む。

\* P F I (Private Finance Initiative) : 民間事業者の資金や経営能力、技術的能力を活用し、公共施設等の建設、改修、維持管理、運営等を行う手法





みやもと 宮本 宏樹  
公明党 (50分)

### 災害対策は

**問** 広瀬地区の生活道完全復旧の見通しは。

**答** 市道は、10月中の完成をめざしている。県道は、復旧までに相当な時間を要する見込みであるが、当該路線は広瀬地区における主要な幹線道路であることから、県において早期通行止め解消に向



おくやま 奥 陽治  
公明党 (50分)

### 働き方改革は

**問** ①働き方改革についての考えは。

**答** ①より良い将来展望が持てる社会の実現に向け就業機会の拡大や意欲、能力を発揮できる勤務環境づくりが重要であり、本市の実情に合った事業を検討していく。

け取り組まれている。

### 小中学校の熱中症対策は

**問** 全ての教室へ空調設備を設置するまでの暑さ対策は。

**答** 各学校では、教室の換気、扇風機やカーテンの利用、水分や塩分の補給、保冷剤の活用等の暑さ対策を行っている。また、予防の観点から日常的に暑さ指数による注意喚起を行い、状況に応じて授業や行事の内容を変更している。引き続き、日々の健康観察を通して児童生徒の体調管理に留意する。

②「生涯現役促進地域連携事業」の取り組みとして、今年度は高齢者雇用のニーズ調査や啓発セミナー就職面接会などの事業を行う。

### 全国学力・学習状況調査結果は

**問** ①本市の結果分析は。

**答** ①「自ら考え学ぶ授業づくり」が進んでいると捉えている。②日々の授業で子ども同士や教師との対話を通じて思考を広げ、物事を深く理解していく「子ども主体の学び」に取り組んでいる。



にしもと 西本 章  
市民連合 (7分)

### 乳幼児等医療費助成制度の拡充は

**問** 今日の子どもたちをとりまく医療、保育などの子育て環境の厳しい現実や、多くの市民の声に現れているように、子育て支援や医療費助成制度の拡充は喫緊の課題である。医療費助成制度拡充に向けた具体的内容と今後のスケジュールは。



かわさき 川崎 卓志  
市民連合 (7分)

### 福山夏まつりは

**問** ①福山夏まつりの実施状況と課題、今後の実施方針は。

**答** ①福山夏まつりのあしだ川花火大会は、民間のインターネットサイトの「行って良かった！花

**答** 昨年度実施した「子どもの生活に関する実態調査」の対象が小中学生であることや、医療費助成制度の拡大を求める多くの市民の声があったことなどを踏まえ、入院、通院ともに助成対象を中学生まで拡大した。

今後、必要な条例改正等を行った後、「広報ふくやま」やホームページなどを活用し広く周知する。また、新たな制度の対象者には個別に通知を送ることにより、2019年4月の新制度移行をめざし着実に準備を進める。

火大会ランキング」では9月9日現在、中国地方で第1位であるが夏まつり全体の課題としては、各会場のにぎわいづくりや会場へのアクセス改善などがある。今後は公共交通の見直しや来場者の受け入れ環境の整備など課題への対応を検討し、より楽しんでいただける内容の充実やSNS等による効果的な情報発信をする。

②文化財の保護の観点から制約があるが、通路等の段差解消などにより、可能な限り利便性の向上に向けて取り組む。





土屋 知紀  
日本共産党  
(72分)

### 7月豪雨災害への対応は

**問** ①市内に砂防ダムは102基、治山ダムは669基ある。土砂災害を防ぐため、砂防ダムの定期的な土砂撤去のための計画策定を求める。  
②市は、雨水が大量に流入した世帯のし尿処理の手数料を半額だけ減免しているが、生活保護

世帯等にとつては大きな負担である。全額免除の考えは。

**答** ①市内の砂防ダムは施設管理者の県が維持管理ガイドラインに基づき管理している。  
なお、今回の豪雨災害を受け、支障が生じると思われる箇所は速やかな堆積土砂の撤去を、県知事とのトップ会談で要望した。  
②今回の災害においては、被災者の経済的負担の軽減を図るため、手数料の全額を補助する。



村井 明美  
日本共産党  
(73分)

### 治山治水予算の増額を

**問** 河川改修や治山の予算を削減し必要な対策が遅れている国や県に対し、治山・治水予算を抜本的に増やすよう求めよ。

**答** 治山・治水事業は総合的な土砂災害対策の推進や治水安全度の抜本的向上に資するものであり、これまでも毎年、国や県に対し予

算の確保を要望している。

### 教室へのエアコン設置を急げ

**問** 全小中学校へのエアコン設置をあらゆる方法を模索して急ぎ、統廃合対象の小中学校を含めた全ての校舎に設置することを求める。

**答** 可能な限り早期に着実に実施するため、直接施工方式とPFI方式をあわせた事業手法を選択した。学校再編対象校はPFI事業の対象ではないが、適切な学習環境となるよう対応する。



稲葉誠一郎  
誠友会  
(40分)

### 車のまちづくり事業の方針は

**問** 埋め立て架橋計画による新たな県道整備に合わせて取り組むとしていた車のまちづくりに関する事業の今後の方針は。  
**答** 埋め立て架橋計画の取りやめを受け、市は新たなまちづくりの指針として本年3月に「車のまちづくりビジョン」を策定した。今

後はビジョンの5つの目標の実現に向け、住民と行政の協働により「交通・道路網の形成」も含めた課題の解決を図り、轄地区の再生活性化につなげる。轄町内会連絡協議会から山側トンネルの具体的な計画の早急な提示や高潮対策事業の着実な実施等11項目の要望書が県に提出され、県は山側トンネルの検討調査結果を早期に取りまとめ住民への説明の場を持つとしている。市としては地元意向を十分に踏まえたものとなるよう、県事業が着実に進捗するよう引き続き県と連携し、取り組む。



能宗 正洋  
誠友会  
(55分)

### 観光客の誘致は

**問** 観光客集客のPRは。

**答** 福山城は日本一新幹線ホームに近い天守という特色を十分に生かす必要がある。築城400年に向けてインスタ映えする樹木の整備、新幹線上りホーム上の福山城ビュースポットの整備等により幅広い世代へのPRにつなげる。

### 今後の避難所対応は

**問** 今後の避難所についての考えは。

**答** 避難場所を開設する際は避難所への移行も念頭におき、空調設備や和室など環境が整った施設を選定しているが、多数の避難者がでた場合、体育館を活用するため間仕切りユニットや毛布等を備蓄してきた。今回の豪雨対応から空調機材のさらなる充実が必要で応援物資を提供していただく協定事業者の拡大にも取り組む。



徳山 威雄  
誠友会  
(50分)

### 教育長4年間の評価と今後のかじ取りは

**問** ①教育長に就任されてから4年間の自身の評価は。

**答** ①「全ては子どもたちのために全力を尽くす」と所信表明をしたことが、私の出発点であり原点である。その実現に向け、子ども

たちが自ら考え学ぶ授業づくりを小中一貫教育の柱とし、授業、組織、評価の3つの転換を示し、一昨年には「福山100NEN教育」を宣言した。この間、知、徳、体に係る調査で知識、技能の定着等数値による結果が表れている。また学校訪問で子どもや教職員の姿からも変化を実感している。

②全ての子どもたちの「学びたい」に火を付け、学びの面白さを実感し、学び続ける力で自分の人生を切り開こうとする子どもたちがあふれる、のびやかで創造性のある学校づくりにより全力を尽くす。



大塚 忠司  
新政クラブ  
(70分)

### 18歳成人に向けた学校教育の在り方は

**問** 法改正により2022年4月から18歳以上が成人年齢となる。今の学生は成人に向かっている自覚も遅れているとの指摘もあるが、主権者及び消費者教育の在り方など、学校での18歳成人に向けた教育の考えは。

**答** 学校では論理的な思考力や判断力、協調性や思いやりなどを21世紀型スキル&倫理観として設定し日々の教育活動を行い、主権者及び消費者教育については小・中・高等学校それぞれの学校段階において、系統的に学習している。

また、総合的な学習の時間等では、学校生活や地域での身近な問題に取り組むことで、社会への参画意識を育んでいる。引き続き、日常のさまざまな場面で行動化できる確かな学びにしていく「福山100NEN教育」を着実に取り組む。



岡崎 正淳  
無所属  
(30分)

### 西日本豪雨災害を受けての今後の防災対策は

**問** ①上下水道局では大規模地震の際の業務継続計画を策定しているが、このたびの豪雨災害で断水回避のために取られた措置は。

②県では昨年度、水道広域連携案を打ち出したが、有事の際の

水道供給の在り方についての考え方は。

**答** ①本郷取水場が浸水し、緊急的な措置として中津原浄水場からの配水に切り替え、松永地域など西南部地域の配水を継続した。

②業務継続計画などに基つき、迅速な復旧や適切な応急給水等を実施する。また、近隣事業者、民間企業等との連携も不可欠である。引き続き有事に備え、的確に対応できる職員の育成とともにハード面の対策を講じ、上下水道機能の維持、向上に努める。



藤原 平  
無所属  
(30分)

### サンドボックス制度は

**問** サンドボックス制度の概念と今後の展開は。

**答** 自治体や民間事業者が新たな商品、サービスを生み出すための近未来技術の実証実験を迅速に行えるよう安全性に十分配慮した上で、事前規制や手続きを抜本的に見直す制度である。

ドローンや自動走行、AI、IoT、ロボットなどの革新的技術を活用し、事業化する目的で行う実証を地域や参加者、期間を限定して規制緩和を活用し、新たな発想で何度でも試行錯誤できる取り組みを称している。

今後、市では新たに切り開く社会実験に積極的に挑戦し、新しい社会の姿を福山から提案する都市として「まるごと実験都市ふくやま」をこれからも継続していく。



## 7月豪雨による被災箇所を視察

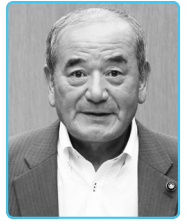
建設水道委員会は、8月1日、7月豪雨による市内の被災箇所のうち3カ所〔吉野川（駅家町）、勝負迫上池、勝負迫下池（駅家町）、神村町の山腹〕の被害、復旧状況を視察しました。



破堤した吉野川の応急対応を確認



神村町の山腹の崩壊状況を確認



いしおか  
石岡 久彌  
ひさや  
無所属  
(30分)

**市職員労働組合には市役所内事務所を即刻、明け渡し・退去させるべきでは**

**問** 市職員労働組合は本来、行政とは独立した組織でありながら市役所内に事務所があり不正、不公平な温床になっていると思えるので、市長は即刻、同事務所を明け渡し・退去させてはどうか。理由としては、①不

審極まる選挙活動の拠点が同事務所である。②無料で事務所の使用、組合費の天引きを受け、闇業務の疑いがある。

**答** 市職員労働組合は、地方公務員法に基づく職員の勤務条件の維持改善を図ることを目的として組織された団体である。

事務所の使用については、当該団体は職員の安全衛生や福利厚生などの公務と密接な関係を有していることから、公益上の必要性があると認め、市財産管理規則に基づき、適正に使用許可をしている。

## 委員会の活動(7月～9月)

7月から9月末までの委員会の主な活動状況は、次のとおりです。

### ◆常任委員会

	開催日	調査・審査項目		開催日	調査・審査項目
総務	8/27	・広報の拡充 ・2018年度オープンキャンパスの実施状況 ・未来づくりミーティング など	文教経済	8/27	・(仮称) 鞆町並み保存拠点施設の整備 ・コンクリートブロック塀の対応状況 ・鞆の浦学園の校歌及び校章 など
	9/14	・付託された議案（3件）の審査		9/14	・付託された議案（4件）の審査
民生福祉	8/27	・保育所の再整備 など	建設水道	8/1	・7月豪雨による被災箇所現地視察
	9/11	・ひとり親家庭等医療費支給条例及び重度心身障害者医療費助成条例の一部改正		8/27	・ふくやまサイクリングロード基本計画（案） など
	9/14	・付託された議案（4件）の審査 ・高齢者保健福祉計画2018に基づく施設整備		9/12	・審査請求に係る地方自治法第229条第2項の規定による諮問
				9/14	・付託された議案（7件）の審査

### ◆特別委員会

	開催日	調査項目
地方創生調査	8/27	・人口減少対策 など

各委員会の詳しい内容は、議会ホームページの「会議録検索」からご覧いただけます。なお、委員会記録の作成には日数を要しますので、ご了承ください。

## 本会議・委員会を傍聴してみませんか！

本会議や委員会は公開していますのでどなたでも傍聴することができます。



傍聴席から見た本会議場

傍聴を希望される方は、

会議の当日、次の場所で受け付けし、傍聴券の交付を受けてください。傍聴券は受け付け順に交付します。

○本会議 → 議会棟 5 階の傍聴受付  
(傍聴席72席のほか車いす 4 台分のスペース)

○委員会 → 議会棟 2 階の議会事務局庶務課  
(傍聴席 6 ~ 9 席)

※本会議については、本庁舎 1 階ロビー、議会棟 5 階の傍聴受付ロビーおよび各支所のテレビで、議会中継をご覧いただけます。

## 12月定例会の開催予定

12 / 3 (月)	★本会議 (市長提案説明など)
6 (木)	議会運営委員会
10 (月)	★本会議 (一般質問)
11 (火)	★本会議 (一般質問)
12 (水)	★本会議 (一般質問)
13 (木)	★本会議 (一般質問など)
14 (金)	常任委員会 (総務、民生福祉、文教経済、建設水道)
17 (月)	予算特別委員会
18 (火)	予算特別委員会
20 (木)	議会運営委員会 ★本会議 (委員長報告など)

○本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。  
(ただし、12月20日の本会議は午後1時からの予定。)

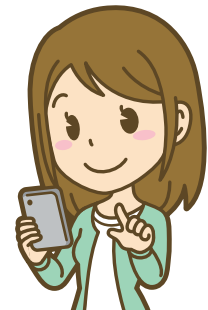
○★印の日は、本会議の生中継をインターネット配信します。

○詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。  
☎084-928-1136

## スマートフォン、タブレット用に「ふくやま市議会だより」の配信を開始

無料アプリ「マチイロ」をダウンロードし設定を行うと、最新のふくやま市議会だよりをスマートフォンやタブレット端末で、いつでもどこでも読むことができます。(通信費は利用者の負担となります。)

また、市議会だよりのバックナンバーや他の自治体の議会だよりも読むことができます。



### ふくやま市議会だより編集委員会



※副委員長が代わりました。

委員長  
副委員長

塚本 裕三  
石井 智志  
村上 明美  
池上 文夫  
生田 代  
平松 毅  
宮地 正毅

**編集後記**

7月の豪雨災害は、2年前の大雨と比べて倍以上の雨量で、約2000ヘクタールの浸水被害や土砂災害など、広域にわたり甚大な被害をもたらしました。改めて自然災害の恐ろしさと同時に、防災意識を高めていく必要性を痛感しています。

今回で6回目となる議会報告会でも豪雨災害についての質問をたくさんいただきました。

9月定例会では、本市における災害対策、防災対策など活発に議論を交わしました。

今後も市民の皆さまに読んでいただける紙面づくりに努めてまいります。  
(生田政代)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 [giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp)

